

＊個人調査書（視様式 6 号 高等部本科普通科、本科保健医療科受検者用）の記入について

個人調査書の記入に当たっては、下記の記入方法を参照すること。

項 目	記 入 方 法
一般的注意 事項	1. 第 3 学年（卒業見込み者）と R 3 年度以降の卒業生で本科普通科 A コース、本科保健医療科を志願する場合は視様式 6 の 1、R 2 年度の卒業生で本科普通科 A コース、本科保健医療科を志願する場合は視様式 6 の 2、本科普通科 B コースを志願する場合は視様式 6 の 3 を用いて作成する。 2. ※印欄は、中学校等及び特別支援学校中学部では記入しない。 3. 併記してある事項は、該当事項を○で囲む。 4. 記載に当たっては、明確な文字・数字を用いる。ゴム印やパソコン等によって記入してもよい。 5. 記載事項がない場合や記載できない場合は、空欄としないで斜線を引く。
1 学習の 記録欄	○視様式 6 の 1 を使用する場合 1. 各教科の評定は、各学年とも 5 段階とする。 第 1 学年と第 2 学年については、生徒指導要録に記載した評定を転記し、第 3 学年については、第 1 学期と第 2 学期の成績を総合して評定したものを記入する。R 3 年度以降の卒業生については、第 3 学年も生徒指導要録に記載した評定を転記する。 2. 各教科の観点別評価は、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の観点ごとに、第 3 学年の第 1 学期と第 2 学期を総合して評価したものを記入する。その際、「十分満足できると判断されるもの」を A、「おおむね満足できると判断されるもの」を B、「努力を要すると判断されるもの」を C とする。R 3 年度以降の卒業生については、中学校生徒指導要録に記載した、第 3 学年の各教科の観点別評価を転記する。 3. 所見は、各教科の学習状況等を第 3 学年の内容を中心に文章で記入する。 ○視様式 6 の 2 を使用する場合 1. 中学校生徒指導要録に記載した評定を転記する。 2. 中学校生徒指導要録に記載した、第 3 学年の各教科の観点別評価を転記する。 ○視様式 6 の 3 を使用する生徒の場合 1. 各教科等の到達状況等について、第 3 学年の内容を中心に文章で記入する。
2 自立活動 の記録欄	第 3 学年の自立活動について、学習状況と所見を文章で記入する。
3 総合的な 学習の時間 の記録欄	第 3 学年について、各中学校等又は各特別支援学校中学部が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況の顕著な事項について、その特徴及び生徒にどのような力が身についたかを文章で記入する。

4 特別活動 の記録欄	○視様式6の1又は6の3を使用する場合 1. 第3学年の特別活動について、主な活動状況と所見を文章により記入する。 ○視様式6の2を使用する場合 1. 特別活動の記録欄の評価については、別表に示す特別活動の評価の観点及びその趣旨を参照し、第3学年の特別活動について、内容ごとに評価の観点及びその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合はA、それ以外はBを記入する。
5 行動の記 録欄	○視様式6の1又は6の3を使用する場合 1. 第3学年の学校生活全般にわたって認められる行動（基本的生活習慣や性格、コミュニケーション等）について、文章により記入する。 ○視様式6の2を使用する場合 1. 行動の記録欄の評価については、別表に示す行動の記録の評価項目及びその趣旨を参照し、第3学年の各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間、その他の学校生活全般にわたって認められる生徒の行動について、項目ごとに、その趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合はA、それ以外はBを記入する。
6 諸活動の 記録及び所見 欄	第1学年から第3学年について、各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、その他の活動等から主な活動について取り上げ、具体的事実及び所見を文章で記入する。
7 欠席の記 録欄	1. 欠席日数は必ず記入する。第3学年（卒業見込者）については、第2学期末までの集計を記入する。 2. 年間10日以上欠席日数がある場合は、欠席の理由を具体的に記入する。
8 特記事項 欄	1. 健康について特記すべき事項がある場合には記入する。 2. 下記事項等のうち、具体的事実について箇条書きで記入する。 ・病気、転校、災害等が学習に及ぼした影響 ・特に顕著な変化があった場合には、その理由 ・休学（時期、事由等） ・卒業後の動静（過年度の卒業生のみ） ・学習の記録欄の評価が相対評価である場合

<別表> ○視様式6の2(R2年度の卒業生用)を使用する場合

特別活動の評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
集団活動や生活の関心・意欲・態度	学級や学校の集団や自己の生活に関心を持ち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする。
集団や社会の一員として思考・判断・実践	集団や社会の一員として役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。
集団活動や生活についての知識・理解	集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解している。

行動の記録の評価項目及びその趣旨

項 目	趣 旨
基本的な生活習慣	自他の安全に努め、礼儀正しく節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
健康・体力の向上	活力ある生活を送るための心身の健康の保持増進と体力の向上に努めている。
自主・自律	自分で考え、的確に判断し、自制心を持って自律的に行動するとともに、より高い目標の実現に向けて計画を立て根気強く努力する。
責任感	自分の役割を自覚して誠実にやり抜き、その結果に責任を負う。
創意工夫	探究的な態度をもち、進んで新しい考えや方法を見付け、自らの個性を生かした生活を工夫する。
思いやり・協力	だれに対しても思いやりと感謝の心をもち、自他を尊重し広い心で共に協力し、よりよく生きていこうとする。
生命尊重・自然愛護	自他の生命を尊重し、進んで自然を愛護する。
勤労・奉仕	勤労の尊さや意義を理解して望ましい職業観をもち、進んで仕事や奉仕活動をする。
公正・公平	正と不正を見極め、誘惑に負けることなく公正な態度がとれ、差別や偏見をもつことなく公平に行動する。
公共心・公德心	規則を尊重し、公德を大切にするとともに、我が国の伝統と文化を大切にし、国際的視野に立って公共のために役に立つことを進んで行う。

＊個人調査書（視様式 7 号 高等部専攻科受検者用）の記入について

個人調査書の記入に当たっては、下記の記入方法を参照すること。

項 目	記 入 方 法
一般的注意 事項	1. 高等部専攻科を志願する場合、視様式 7 号の様式を用いて作成する。 2. ※印欄は、高等学校等及び特別支援学校高等部では記入しない。 3. 併記してある事項は、該当事項を○で囲む。 4. 記載に当たっては、明確な文字・数字を用いる。ゴム印やパソコン等によって記入してもよい。 5. 記載事項がない場合や記載できない場合は、空欄としないで斜線を引く。
1 各教科・ 科目等の学 習の記録欄	1. 各教科の評定は、各学年とも 5 段階とする。 第 1 学年から第 2 学年（第 3 学年）については、生徒指導要録に記載した評定を転記し、最終学年については、第 1 学期と第 2 学期の成績を総合して評定したものを記入する。 2. 「修得単位数の計」の欄は、修得を認定した学年ごとの単位数の計を記入すること。卒業見込み者についての最終学年の修得単位は、当該学年における履修単位を修得したものとして記入する。
2 各教科 の評定平均 値欄	各教科の評定平均及び全体の評定平均値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して求める。
3 欠席の記 録欄	1. 欠席日数は必ず記入する。卒業見込者については、第 2 学期末までの集計を記入する。 2. 年間 10 日以上欠席日数がある場合は、欠席の理由を具体的に記入する
4 自立活動 の記録欄	最終学年の自立活動について、学習状況と所見を文章で記入する。
5 特別活動 の記録欄	最終学年の特別活動について、主な活動状況と所見を文章により記入する。
6 指導上 参考となる 諸事項欄	指導要録の同欄の記載事項を参考に、行動の特徴、特技、部活動、ボランティア活動、表彰、生徒の成長の状況等に関わる所見を文章により記入する。
7 総合的 な探究（学 習）の時間 の記録欄	最終学年について、主な活動内容、学校等又は各特別支援学校高等部が定めた評価の観点のうち、生徒の学習状況の顕著な事項について、その特徴及び生徒にどのような力が身についたかを文章で記入する。
8 備考の 欄	1. 職業教育を行っている学校で教育課程編成上の留意事項等がある場合は、その旨明示する。 2. 健康について特記すべき事項がある場合には記入する。 3. 転校、休学（時期、事由等）、災害等が学習に及ぼした影響、卒業後の動静（過年度の卒業生のみ）等あれば具体的事実について箇条書きで記入する。